

## 2 構造計画概要

### (1) 構造計画方針

#### ア 耐震性能

建物の機能・規模に配慮し、耐震安全性の分類におけるⅡ類相当の耐力を確保した耐震構造とする。

震度6強程度の大地震が起きても、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できる計画とする。

#### イ 耐風性能

建築基準法・同施行令により定められた計算に基づき、100年に1度の再現率の風圧力に対し建築物の安全性を確保する。

#### ウ 耐久性能

建物の計画供用期間として80年を想定し、経年や環境条件に拠る影響に対して十分な耐久性を確保できる計画とする。

### (2) 構造設計方針

供用期間80年の中で、建物の使われ方や需要の変化が生じると想定される。そのため、容易に間仕切り改修が可能なフレキシビリティの高い計画とする。

#### ① 外来診療棟

規模：地上8階 塔屋1階

主体構造：耐震構造

構造種別：鉄骨造

構造形式：ラーメン構造

基礎形式：杭形式

#### ② 居住棟

規模：地上5階

主体構造：耐震構造

構造種別：鉄筋コンクリート造

構造形式：ラーメン構造

基礎形式：杭形式

#### コネクションホール

規模：地上4階

主体構造：耐震構造

構造種別：鉄骨造

構造形式：ラーメン構造

基礎形式：杭形式

※床面積は居住棟を含む

## 3 設備計画概要

### (1) 電気設備計画の特色

#### ア 受変電設備

6.6kV本線・予備線2回線受電方式とし、一方が停電しても、もう一方に切り替えて受電が可能なものとする。

#### イ 発電設備

本線・予備線ともに停電した場合を想定し、バックアップ電源として非常用発電機を計画する。非常用発電機は、点検や更新を考慮して2基設置とし、2基の合計容量で想定している電力を賄うものとする。

燃料は重油とし、72時間連続運転可能な量を地下タンクへ備蓄する。

太陽光発電パネルを設置し、再生可能エネルギー利用を行う。

#### ウ 電力貯蔵設備

手術室機器などの最重要負荷については無停電電源装置を接続し、停電時の発電機電源への切り替え時においても無停電で使用可能とする。

### (2) 機械設備計画の特色

#### ア 熱源設備

エネルギー源は、都市ガス（中圧ガス）と電気を併用し、環境に配慮した省エネシステムとするとともに災害対策に配慮した施設とする。

#### イ 給水設備

上水と井水の併用とすることで、災害時に自己水源の確保を図る計画とする。

#### ウ 排水設備

検査系など、特殊排水は原点回収を基本とする。一般系統の排水は公共下水道に接続し放流する。